

# 資 料 編

## 子ども・子育てに関するアンケート調査 結果

調査実施期間 2019年4月19日～5月15日  
調査対象者 95名（未就学児【0～6歳児】）  
回答者数 55名（回収率 57.89%）

### 1 封筒の宛名のお子さんご家族の状況について伺います。

問1 宛名のお子さんの生まれ年をご記入ください。

平成25年	8人	14.54%
平成26年	8人	14.54%
平成27年	7人	12.73%
平成28年	12人	21.82%
平成29年	6人	10.91%
平成30年	7人	12.73%
平成31年	4人	7.28%
未回答	3人	5.45%
合計	55人	

問2 宛名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。

2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の方の生まれ年をご記入ください。

きょうだい数		
4人	3人	5.45%
3人	11人	20.00%
2人	27人	49.10%
1人	11人	20.00%
0人	3人	5.45%
合計	55人	

末子の産まれ年

平成25年	2人	3.64%
平成26年	4人	7.27%
平成27年	4人	7.27%
平成28年	10人	18.18%
平成29年	1人	1.82%
平成30年	12人	21.82%
平成31年	3人	5.45%
未回答	19人	34.54%
合計	55人	

問3 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

母親	46人	83.64%
父親	9人	16.36%
合計	55人	

問4 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

配偶者あり	50人	90.91%
配偶者なし	5人	9.09%
合計	55人	

問5 宛名のお子さんを含めて家族は何人ですか。

※ 単身赴任・入院・入所の方など、家計を一緒にしたり、定期的に帰宅する方は家族の人数を含めて回答してください。

7人	1人	1.82%
6人	4人	7.27%
5人	15人	27.27%
4人	24人	43.64%
3人	9人	16.36%
2人	2人	3.64%
合計	55人	

問6 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）を行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号1つに○をつけてください。

両親	36人	65.45%
主に母親	19人	34.55%
主に父親	0人	0.00%
主に祖父母	0人	0.00%
合計	55人	

## 2 子育ての環境について伺います。

問7 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）に日常的に関わっている方はどなた（施設）ですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号すべてに○をつけてください。

(n=55)

1. 父親・母親ともに	36人	36.73%
2. 母親	17人	17.35%
3. 父親	0人	0.00%
4. 祖父母	14人	14.29%
5. 幼児センターきらり	29人	29.59%
6. その他	2人	2.04%

問8 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

(n=55)

1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる	18人	24.66%
2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる	32人	43.83%
3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる	6人	8.22%
4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる	10人	13.70%
5. いずれもない	7人	9.59%

問8で「1」または「2」に○をつけた方に伺います。

問8-1 祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

(n=50)

1. 祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる	26人	44.07%
2. 祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である	13人	22.03%
3. 祖父母等の親族の精神的な負担や時間的制約があり心配である	10人	16.95%
4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい	9人	15.25%
5. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある	1人	1.70%
6. その他	0人	0.00%

問8で「3」または「4」に○をつけた方に伺います。

問8-2 友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

(n=16)

1. 友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる	3人	25.00%
2. 友人・知人の身体的負担が大きく心配である	2人	16.67%
3. 友人・知人の精神的な負担や時間的制約があり心配である	3人	25.00%
4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい	4人	33.33%
5. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある	0人	0.00%
6. その他	0人	0.00%

問9 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

いる／ある	47人	85.45%
いない／ない	8人	14.55%
合計	55人	

問9で「1.いる／ある」に○をつけた方にかがいます。

問9-1 お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

(n=47)

1. 祖父母等の親族	42人	42.00%
2. 友人や知人	33人	33.00%
3. 近所の人	3人	3.00%
4. 幼児センターきらり	12人	12.00%
5. 子育て支援センター	4人	4.00%
6. 保健師	5人	5.00%
7. 福祉課職員	0人	0.00%
8. 民生委員・児童委員	0人	0.00%
9. かかりつけの医師	0人	0.00%
10. インターネット・SNS	1人	1.00%
11. その他	0人	0.00%

問10 子育て（教育を含む）をする上で、周囲（身近な人、行政担当者など）からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。ご自由にお書きください。

- もっと気軽に預けられたり、もしくは自宅で見てくれたりできると良いと思う。「ファミリーサポート」があれば利用したい。
- 適切なアドバイス。保護者に寄り添った保健師の対応。
- 未満児がいる家庭に対し、検診時だけでなく、保健師の訪問などがあっても良いと思う。母親から保健師が遠く感じる。
- 医療情報
- 健診以外でも気軽に相談できる場所があるといい。
- 誰でも相談できる環境が必要です。土日祝日でも預かってもらえることができる場所が本当はほしいです。
- 一時預かり制度をより柔軟なものにして欲しい。夜間・休日・病気の時など。
- 子育ての相談をすると、その様子が他の人に見られ、変な噂にならないか心配。また、相談に行く時間がない。
- 特に小さい子供がいる場合、親が用事を足したいときなど、少しの時間でも一時的に預かってもらえるようなサービス（お金がかかっても）があると助かると思います。（自分が病院に行きたい・・・など）

- 町外からの転入者であると、緊急時に頼れる親族がないため、急病の時や感染症に罹患するととても不安。子育てをするうえで、頼れる医療機関が不可欠だと思うが、近隣にしっかりとした病院がない。誤診やワクチン打ち間違いがあったり、全く信用できないのは、かなり問題。金銭面での支援ではなく、インフラ整備が必要。
- 行政のサポート等の内容はわからない部分が多いため、情報をもっと提供して欲しい。対応が冷たかったり、わからない人には聞きづらい。  
少しの時間、気軽に預かってくれるところが欲しい。幼児センターのお預かりは緊急時必要に迫られてお願いすることがあるが、入園していない児はお弁当が必要など利用しづらい。親の負担が大きいので改善して欲しい。
- 行政のサポート等の内容はわからない部分が多いため、情報をもっと提供して欲しい。対応が冷たい。少しの時間、気軽に預かってくれるところが欲しい。幼児センターのお預かりはお弁当が必要など使えない。
- 昔のような誰でも関係なく、面倒を見てくれる、叱ってくれる等の環境があれば良いと考えます。
- 子供が少ない時代になっていますので、子どもから大人まで、おじいさんおばあさんの年代まで顔見知りになれる環境がいいと思います。街で見かけたとき、「○○さんの△△ちゃんだよ～」とわかるような。
- 医療機関（小児科）が遠いので、交通費の援助。
- 医療機関（小児科）が遠い。交通費の援助。

### 3 宛名のお子さんの保護者の就労状況について伺います。

問11 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）を伺います。

① 母親【父子家庭の場合は記入は不要です】当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労している	15人	27.27%
2. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労している	15人	27.27%
3. 以前は就労していたが、現在は就労していない	21人	38.18%
4. これまで就労したことがない	3人	5.46%
未回答	1人	1.82%
合計	55人	

② 父親【母子家庭の場合は記入は不要です】当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労している	47人	85.45%
2. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労している	1人	1.82%
3. 以前は就労していたが、現在は就労していない	1人	1.82%
4. これまで就労したことがない	0人	0.00%
未回答	6人	10.91%
合 計	55人	

問11の①又は②で「2」（パート・アルバイト等で就労している）に○をつけた方に伺います。  
該当しない方は、問14へお進みください。

問12 フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

① 母親

(n=16)

1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望がある	4人	25.00%
2. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）の就労を続けることを希望	10人	62.50%
3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）をやめて子育てや家事に専念したい	1人	6.25%
未回答	1人	6.25%

② 父親

(n=1)

1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望がある	0人	0.00%
2. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）の就労を続けることを希望	0人	0.00%
3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）をやめて子育てや家事に専念したい	0人	0.00%
未回答	1人	100.00%

#### 4 宛名のお子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について伺います。

問14 宛名のお子さんは現在、幼児センターを利用されていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 利用している	38人	69.09%
2. 利用していない	15人	27.27%
未回答	2人	3.64%
合計	55人	

問14で「2. 利用していない」に○をつけた方に伺います。

問14-2 利用していない理由は何ですか。理由として当てはまる番号すべてに○をつけてください。

(n=15)

1. (子どもの教育や発達のため、子どもの母親か父親が就労していないなどの理由で) 利用する必要がない	10人	43.48%
2. 子どもの祖父母や親族の人がみている	1人	4.35%
3. 近所の人や父母の友人・知人がみている	0人	0.00%
4. 利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない	0人	0.00%
5. 利用したいが、時間帯等の条件が合わない	0人	0.00%
6. 子どもがまだ小さいため0歳くらいになったら利用しようと考えている	11人	47.82%
7. その他 →「利用したいが、いっばいだと言われた。」	1人	4.35%

#### 5 幼稚園・保育所・認定こども園等の無償化について伺います。

すべての方に伺います。

問15 上記の無償化が実施された場合、教育・保育施設を利用したいですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 現在利用している幼児センターを継続して利用したい	38人	69.09%
2. 現在は利用していないが、新たに幼児センターを利用したい	12人	21.82%
3. 現在は利用しておらず、新たに幼児センターを利用するつもりはない	4人	7.27%
未回答	1人	1.82%
合計	55人	

## 6 あなたの子育てについて伺います。

問18 あなたは、子育てを楽しんでいることが多いと思いますか、それとも辛いと感じることが多いと思いますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 楽しいと感じることの方が多い	34人	61.82%
2. 楽しいと感じることと、辛いと感じることが同じくらいある	17人	30.91%
3. 辛いと感じることの方が多い	3人	5.45%
4. わからない	0人	0.00%
5. その他 → 大変ではあるが、辛くはない。楽しいことも多い。	1人	1.82%
合 計	55人	

問18で「1. 楽しいと感じることの方が多い」「2. 楽しいと感じることと、辛いと感じることが同じくらいある」と回答した方に伺います。

問18-1 子育てが楽しいと思う理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。(n=51)

1. 子どもの成長が目に見える	48人	32.65%
2. 子どもがかわいい	48人	32.65%
3. 自分を信頼してくれる(求めてくれる)	25人	17.01%
4. 自分自身も一緒に成長できる	23人	15.65%
5. その他 → 楽しいという感覚はないです。子育てが辛いとは感じません。 → 大変なこともあるが、子供がかわいい。 → 精一杯の自己主張と反抗	3人	2.04%

問18で「2. 楽しいと感じることと、辛いと感じることが同じくらいある」「3. 辛いと感じることの方が多い」と回答した方に伺います。

問18-2 子育てが辛いと思う時は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。(n=20)

1. 時間などの制約や自由な時間が阻害されるとき	9人	16.98%
2. 子育てが思い通りにならないとき	6人	11.32%
3. 身体や精神的な疲れがあるとき	15人	28.30%
4. 協力者や相談者がいないとき	5人	9.43%
5. 子どもが病気の時	9人	16.98%
6. 自分が病気の時	8人	15.10%
7. その他	1人	1.89%



問19 子育てに関して、不安や負担などを感じることはありますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。(n=55)

1. 子どもの健康に不安がある	13人	8.67%
2. 子どもの発育・発達に不安がある	9人	6.00%
3. 子どもの教育に不安がある	18人	12.00%
4. 子どものしつけに不安がある	22人	14.67%
5. 学校での教育内容が変わってきていることに不安がある	9人	6.00%
6. 子どもの友だちづきあいに不安がある	14人	9.33%
7. 子どもの将来の進路について不安がある	20人	13.33%
8. 配偶者の協力が少ない	3人	2.00%
9. 配偶者と子育ての意見が合わない	2人	1.33%
10. 子育てにかかる経済的な負担が大きい	16人	10.67%
11. 子育ての大変さを身近な人が理解してくれない	4人	2.67%
12. 配偶者以外に子育てを手伝ってくれる人がいない	4人	2.67%
13. 相談相手がいない	3人	2.00%
14. その他 → 将来の目標に向かう時、それに伴う教育環境がない。 → “しつけ” といつか関わり方が不安。自分が子どもの頃と社会環境が大きく変わっているので…	2人	1.33%
15. 不安や負担などは感じない	11人	7.33%

問20 子育てをする中で、どのような支援・対策が有効と感じていますか。当てはまる番号3つまで○をつけてください。(n=55)

1. 地域における子育て支援の充実	23人	13.94%
2. 保育サービスの充実	21人	12.73%
3. 子育て支援のネットワークづくり	4人	2.42%
4. 地域における子どもの活動拠点の充実	13人	7.88%
5. 妊娠・出産に対する支援	15人	9.09%
6. 不妊治療費等の助成	4人	2.42%
7. 乳児の育児に対する支援	12人	7.27%
8. 子どもの教育環境	18人	10.91%
9. 特別な支援を要する児童への支援	6人	3.64%
10. 仕事と家庭生活の両立	19人	11.51%
11. 子育てしやすい住居や街並み等の環境	29人	17.58%
12. その他 → 小児科がもっと定期的に来てくれると良い。	1人	0.61%

問21 遠別町は子育てしやすいまちだと思いますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。よろしければ、その理由もご記入ください。

(n=55)

1. そう思う	4人	7.27%
---------	----	-------

(理由) 相談できる人が多い。  
 幼児センターが充実しているため。  
 医療費の無償化など。

2. ある程度そう思う	25人	45.46%
-------------	-----	--------

(理由) 子供が小さいうちは今の環境でも良い。  
 少子状態。遊べる場所がない(屋内施設)。  
 18歳までの医療費無償化にいち早く取り組んだ。  
 特に不満なところがない。  
 病院以外はまあまあ満足している。  
 病院の心配以外はまあまあ満足している。  
 公園など外で遊べる場所が少ない。  
 病院がない(急な病気の時小児科)のが、残念である。  
 保育に関しては十分だと思うが、公園や外で遊べるところがないので・・・特に幼児の。きりり園庭は平日の午後3時まででは使えないので。  
 今のところ子どももすくすく成長しているし、いいと思う。  
 医療費がかからない等とても助かる。  
 妊娠・出産の援助はありがたい。あとは医療機関(小児科)の交通費の援助があると嬉しい。(2件)  
 各種支援・助成等は充実しているため

3. あまりそう思わない	6人	10.91%
--------------	----	--------

(理由) 自然豊かで食も豊富。のびのびと育ち、食育ができる環境。ある程度の年齢に達した時には町外へ学びの場を求めていかなければならない地方の課題がある。  
 幼児センターが利用しづらいときがある(2件)  
 近くに公園がない。  
 公園や外で遊べる場所を作って欲しい。

4. そう思わない	9人	16.36%
-----------	----	--------

(理由) 小児科が遠い。教育環境が整っていない。  
 病院がない。教育の遅れ。  
 必要なものがすぐに手に入らない。小児科もない。  
 小児科がない。  
 子供が少なすぎる。保育園もすぐに定員オーバーしちゃうし、病院も遠い。  
 公園が近くにない。子供が楽しめるイベントや行事や場所がない。  
 公園もなく遊べるところが少ない。

5. わからない	7人	12.73%
----------	----	--------

(理由) 屋外で遊べるところが少ない  
 屋外で遊べるところがない。

未回答	4人	7.27%
-----	----	-------

問22 最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関して、ご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

- 小児科医が常駐してくれれば、安心。車で1時間以上かかる稚内・名寄までは行かないといけないのは、本来、大問題だと思う。
- 子どもの病状によっては、町内の病院で対応できない場合も多い。小さな町なので、仕方がないと思うが、交通費の助成や付き添い入院助成、入院時の保護者の宿泊費助成など、子育てしやすい町にしていきたい。
- 病気の重症化、低体重での出産等で遠方（旭川や札幌）に入院する場合、親は近隣のホテル等に長期滞在しなくてはなりません。そうした場合の金銭的な支援が欲しいです。
- 子どもの数が年々減少しているのは、子育てしやすい住居・環境が整っていないという理由が大きいと思います。ミルクやオムツもすぐには買えるわけでもなく、稚内や名寄まで足を伸ばさないと、まともに診察できる医療機関がない。子どもが遊べる公園のような場も昔に比べてなくなってきているので、外に出る楽しみがない。（歩いて行けるような距離にあればありがたい。）なご一みの中で遊ぶことは可能だが、狭い空間に限られた遊具しかないので、小学生の子が来ると小さい子は遊べない。中途半端。
- 未就学児にとっては、今の保育環境で良いと思う。小学生・中学生・高校生と年が上に上がれば、町外に進学する子がいたり、親の負担も大きくなるので、今後、経済的に大変になるのではと不安に思う。子どもが少なくなってきているので、地元の学校の存続できるのかも心配。医療もこのままでは不安。子どもが調子悪ければ町外の小児科ある病院まで連れて行かないと・・・負担大です。
- 一時保育も給食にしてほしい。一時保育の料金が高い。
- 多世代との交流の活発化を望みます。（小中学生やご老人など）
- 子どもに対する行政（保健師・きらり保育士）がもっと親身な対応をするべき。一人ひとりの子どもに対し、もっとアドバイス・相談に応じる。
- 少子化すぎると思います。住居がない、仕事がない、若者がいない。遠別町に来て家もない。古い汚い家が多い。移住者の住居支援が必要だと思います。せっかく産まれてきた子供達は大きくなったら、町外へ就職してしまう。病院・介護職・役場、色々奨学金等の導入もあっては良いのではないかと？町内にずっと生活している人はいいが、地元じゃない人はとっても生活しづらいと思います。孤立しないように援助支援が必要だと思います。少しでも地元に戻ってきたくするような支援が必要だと思います。小さい幼児への支援も大事だが、小学生中学生・高校生への経済的負担も考えたほうが良い。保育料無償化以外でも支援しないと町外からの子育て世代、働き世代の人は定住移住しないと思います。3人目の祝い金もうれしいが、学費・学用品・住居・就職・・・給食費。支援がいっぱい考えることが多いですね。他の町にも負けないような同じようなことをやっても人は来ないと思う。
- もう少し小さくてもいいので、子供が遊べる公園など作って欲しい。住宅街など何個か遊具がある場所があってもいいと思う。
- 現在、仕事をしているために子育てや家庭生活にしわ寄せが出てきているので、気軽に短時間でも休みをとりやすい社会になることを望んでいます。そのために、人的なサポート（代わりに仕事の穴埋めをしてくれる人）の支援や制度が充実していくといいと思います。
- サポート体制の充実を図ることは、子どもを育てている側としてとてもありがたいです。しかし、今あるサービスを利用したとき、嫌な言い方で説明され、気持ち良く利用できなかったことがありました。提供する側、利用する面も気持ち良く使えるサービス・サポートの充実が図られることを期待したいです。
- 希望ですが、図書館と子どもたちが一緒に遊べる場所が同じ建物だと嬉しいです。

- なごーみができてオープンスペースを利用する母子がとて多いな一と思います。遊ばせられるところがあるのはありがたいです。ただ、幼児と小学生（特に中学年以上）が同じ空間で遊ぶのは危険だと思うことがあります。対象年齢が決まっているわけではないので仕方ないと思いますが、上手く棲み分けした方がいいのかなと思います。
- なごーみという新しい施設が出来、子どもたちも、喜び、楽しくなごーみを利用し始めたのに、会議中に子どもたちの騒ぐ声や音がうるさいという話が聞こえてきて、とても残念に思っています。子どもは「宝」だという割には、大事にされていないのでは？会議をする場所（静かな場所）は他にもありませんか？なごーみは皆の施設ですよ。
- きらりの中でももう少し教育の時間が欲しい。小学校に進むため、机に座り学ぶ時間を増やして欲しい。
- 幼児だけでなく、小学生にももう少し配慮して欲しいです。というのも「なごーみ」ができて、遊具があり、遊べる場ができたのはいいことですが、冬はなおさら遊ぶ場がなく小学生も利用していましたが、騒いでもいないし大声も出していないのに、管理のおばさんに「静かにして！」と注意ばかりされています。あそこは赤ちゃんと年寄り限定の広場なんですか？そんなのだったら必要なし！皆が公平に利用できる場であって欲しいです。小学生・中学生・高校生は嫌な思いをして帰ってきます。そういう状況なのを知って、意見を聴いて、環境づくりをしてください。町の財産なんだから全員に利用する権利があるでしょう。子どもたちは、なごーみから足が遠のいていますよ。